

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302

必修 2単位

瀬藤 芳哉

1. 授業の概要(ねらい)

前期はマクロ的な視点からアジアの政治・経済・社会・文化等を取り上げた。後期は具体的な企業活動の研究に重点を置く。前期の経験を踏まえ、海外での企業活動、国際マーケティングをどのように行っているか等、様々な視点から調べる。

後期は業界別のグループに分かれる。①(個別発表)メンバーは、担当業界の中の個別企業について教科書・参考書等を読み、レジュメにまとめ報告する。これについて全員で質問・討論する。②(グループ発表)各グループが、担当業界の内容・状況・課題を調べ、レポートを作成し報告する。その報告に基づき、質問・議論する。③(外部講師)海外ビジネス等に携わっている外部講師による講義を1～2回行いたい。

こうした過程を通じ、メンバーが討論や発表の方法を学び、経験を積めるようにしたい。また企業活動の調べ方を身に付け、就活の参考にもなるようにしたい。発表内容の優れたグループはゼミ報告会での発表を目指す。

なお、ゼミの進行状況、メンバーの関心等を踏まえ、運営方法や内容を変更することがあります。

2. 授業の到達目標

- ・海外展開している企業(大企業、中小企業)の状況を把握し、課題と戦略を考える。
- ・討論と発表の経験を積み、グループ内や人前で積極的に発言できる。(DP1 企業経営に要求されるコミュニケーション力、リーダーシップ力、倫理観を有する)

3. 成績評価の方法および基準

- ・レジュメ(個人)の内容と発表:30%、レポート(グループ)の内容と発表:40%、授業への参加・貢献(質問、発言、他)・受講態度:30%
- ・ゼミは授業の参加が必須です。無断欠席等には厳しく対処します。

4. 教科書・参考文献

教科書

マーケティング史研究会 『日本企業のアジア・マーケティング戦略』 同文館出版

参考文献

大石芳裕 『日本企業のグローバル・マーケティング』 白桃書房

森辺一樹 この一冊ですべてわかるグローバル・マーケティングの基本 日本実業出版社

5. 準備学修の内容

- ・レジュメやレポートの作成にあたっては、自分の言葉で、分かりやすくまとめる。
- ・新聞、書籍、映像等で海外の風物や企業の海外活動の事例に触れる。

6. その他履修上の注意事項

- ・授業への参加は必須です。毎回遅刻せずに出席すること。やむを得ず欠席する場合は事前に連絡する。受講態度(私語の有無、他)も重視します。
- ・授業での貢献を期待します。報告等に対し質問をする。
- ・第10回はオンライン授業を予定(仮)しています。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:ゼミの進め方や学習の仕方などを説明する。
- 【第2回】 国際マーケティングについて(講義)
- 【第3回】 担当企業・業界について発表する。(自動車、電機、アパレル、外食、食品、のどれか)
- 【第4回】 担当企業・業界について発表する。(自動車、電機、アパレル、外食、食品、のどれか)
- 【第5回】 担当企業・業界について発表する。(外部講師による講義(調整中))
- 【第6回】 担当企業・業界について発表する。(自動車、電機、アパレル、外食、食品、のどれか)
- 【第7回】 担当企業・業界について発表する。(自動車、電機、アパレル、外食、食品、のどれか)
- 【第8回】 グループによる担当業界の調査
- 【第9回】 業界の事例研究(オンライン授業予定 仮)
- 【第10回】 担当業界について発表する。(自動車、電機、アパレル、外食、食品、のどれか)
- 【第11回】 担当業界について発表する。(自動車、電機、アパレル、外食、食品、のどれか)
- 【第12回】 担当業界について発表する。(自動車、電機、アパレル、外食、食品、のどれか)
- 【第13回】 担当業界について発表する。(自動車、電機、アパレル、外食、食品、のどれか)
- 【第14回】 外部講師による講義(仮)
- 【第15回】 まとめ。最終レポートを提出する。